

第 144 回 JUNBA 理事会議事要旨

1. 日時・場所

日時：2019 年 9 月 26 日（木）13:00～14:20

場所：日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター

2. 出席者

【理事】名古屋大学（神山会長）、九州大学（松尾理事）、早稲田大学（會沢理事）、桜美林大学（丸山理事）、奈良先端科学技術大学院大学（三宅理事）、大阪大学（田谷理事）

【事務局】JSPS（田宮事務局長、伊藤、渡邊、石村）

【オブザーバー】なし

3. 議事

議事に先立ち、第 143 回理事会議事要旨案を了承した。また、JUNBA2020 の全日程において全理事が出席可能なことを再度確認した。

【 審議事項 】

(1) JUNBA2020 第二報について

事務局より、資料 2 に基づき事前にメール審議を経た第二報案について要点の説明があった。これを基に第二報案を最終承認したが、鑑文に記載の「レセプション」を「日米学術交流レセプション」に変更する等、軽微な修正が生じたため、これを反映した最終版を理事会後に理事全員でメール確認することとした。また、事前にメール審議していたシンポジウムの英語副題について、「Fostering effective leadership and building alumni relationships」に変更し、承認された。

広報は事務局及び広報担当の三宅理事により行うこととし、三宅理事からは第二報送付先リストを各理事へ共有していただくこととなった。また、各理事はそれぞれの所属機関等関係各所へ自身でも広報していただくこととなった。

（補足：確定した第二報は 10 月 10 日に事務局より国立大学協会等へ送付済み。）

また、参加費については一律 200 ドルで最終承認された。

（補足：参加費や賛助金の振込については、理事会後に桜美林大学・丸山理事より桜美林大学北米拠点の口座使用の申し出があり、JUNBA と丸山理事の間で覚書を交わすこととなった。）

(2) JUNBA2020 シンポジウム午後セッションについて

會沢理事の理事退任後も引き続き神山・田谷・會沢の各担当理事が午後セッションの軸を担うことで合意した。神山会長より、午後セッションを含む総合司会及び進行を田宮理事、午後セッションの日米大学調査結果及び趣旨説明を神山会長、二つの大学間討論の担当（モデレーター）をそれぞれ松尾理事及び田谷理事、補助として丸山理事及び會沢理事という分担にすればよいのではという提案があり、承認された。

午後セッションの具体的な内容にかかるシナリオは、神山会長主導でメール審議等で素案を作成し、次回理事会にてご説明いただくこととなった。

(3) OIST の入会について

事務局より、資料 3 に基づいて説明があり、正会員としての入会が承認された。

【 報告事項 】

(4) 各拠点からの活動報告

名古屋大学、桜美林大学、大阪大学より報告があった。

(5) その他

早稲田大学・會沢理事より、本理事会をもって理事を退任する意向の報告があり、理事会で了承した。また、事務局から次回以降の理事会の日時及び場所について確認があった。

以上